

総合的な 学習の時間	第9学年	呉市立天応学園	指導者 浅藤瑞樹 森田翔太 多田野舞
単元名	My Future My Story ～かかわりの中で見出す未来の居場所～		令和7年10月2日(木) 図書メディアセンター 計24人

「本質的な問い」・「単元を貫く問い」について	
本質的な問い	幸せな人生とは。
単元を貫く問い	よりよく生きるために今できることは何か。
単元について【単元観】	
<p>本単元「My Future My Story～かかわりの中で見出す未来の居場所～」は、人生の先輩である地域の方や、年齢が近い学生などの生き方や考え方に触れるとともに、学校や地域で様々な貢献活動を通して、生徒が自分自身にとっての「よりよく生きる」や「幸せな人生」の意味や価値を多面的に捉え、自らの将来像を主体的に構想することを目指すものである。</p> <p>単元は、「幸せな人生とは」という本質的な問いのもと、現在の自己の価値観や将来の目標の確認、上級学校訪問による学生とのディスカッション、校内外におけるボランティア体験活動、後輩たちに自己の生き方を宣言する立志式(仮称)など探究の過程において体験や対話を重ねていく構成となっている。これらの活動を通じて、生徒は様々な人の価値観や考え方に触れ、自分自身の価値観と照らし合わせながら、自分自身の「幸せな人生」についての考えを深めていく。また、本単元では、社会人や学生、教員、後輩、同じクラスの仲間などの多種多様な価値観や考え方に触れる体験を通して、生徒一人ひとりが「幸せな人生とは」という問いに対しての自分なりの答えを自分の人生に引き寄せて考えることが期待できる。調べる、聞く、体験する、振り返るといった一連の学習活動を通して、自己の将来を考えるにあたって必要な情報を収集したり、活用したりする能力や仲間との協働性、自己実現に向けて、自分のできることを実践しようとする挑戦心の育成を目指したものである。</p>	
生徒について【生徒観】	指導の工夫について【指導観】
<p>①自己の将来についての関心が高まりつつある。</p> <p>第1回進路希望調査において「自分の目標や夢(興味・関心のある事)がありますか」という問いに対して84%の生徒が自己の将来について具体的な回答をすることができた。また、第2回進路希望調査において「オープンスクールに参加した」「これから参加する予定がある」と答えた生徒は79%と高く、自己の将来について関心が高まっているといえる。</p> <p>②得た情報を実生活に生かすことに課題が残る。</p> <p>7・8年時の総合的な学習の時間では、様々な体験活動を通して「生き方」や「働くこと」に関する多様な情報を得ている。しかし、それらの得た情報を実生活に生かしたり、自己の将来と関連付けたりするには至っていない。そのため、多様な価値観や意見を基に自己の生き方に対する考え方を吟味し、再構成する能力の育成が必要である。</p> <p>③将来に向けて必要な知識を主体的に得ようとする態度に課題が残る。</p> <p>自己の将来に向けての関心が高まっている一方で、自己の目標や夢を実現するために、具体的な行動がイメージできていない生徒が多い。自己実現に必要な事を体験から学ぶ機会や新しいことに挑戦する資質が必要である。</p>	<p>①「よりよい生き方」を自分ごととして捉えられるようにする。</p> <p>自分の「将来」や「生き方」への考え方は多種多様であるため、身近な人たちとの体験や等身大の話を通して生徒自身の進路や価値観と結び付けて考えることを促す。</p> <p>②「正解のない問い」に対し、多様な情報を基に自分なりの考えを形成することができるようにする。</p> <p>「よりよい生き方」に正解はないことを前提とし、多様な価値観や考え方に触れる体験活動を行う。体験活動で得た情報を、自己の考えと比較したり、実生活と関連付けて考えたりするなど情報を活用した活発な思考の場面を設定する。</p> <p>③自分自身の思いや経験から考えを深められるようにする。</p> <p>外から得た知識や情報だけでなく、自分の実体験や感じたことを出発点にして考える行動(振り返りや対話など)を大切にする。特に「なぜそう思ったか」「何を大切にしたいか」といった内面の言語化を丁寧に支援する。</p>

1 単元目標

校内外でのボランティア活動や様々な人たちとの対話、自分の生き方を宣言する立志式(仮称)等の活動を通して、社会に貢献する意味やそのために自己が現在できることを理解し、「よりよく生きる」ことに対する自己の価値観を深め、自己の将来と結び付けて考えるとともに、将来どんな生き方をしたいか具体的なイメージをもつことができるようにする。

2 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①「幸せな人生」は人それぞれで、多様な考え方や価値観があることを理解している。 ②収集したい情報に合わせて、適切な方法で効率的に情報を収集し、確かな情報を集めている。【情報収集能力】 ③幸せな人生を送るために、今、自己がすべきことへの認識の高まりは「よりよく生きること」について探究的に学んだ事による成果であると気付いている。	①地域社会の複雑な問題状況の中から課題を見出し、仮説を立てて検証方法を考え、計画を立案している。 ②自分の目的を意識しながら、方法を選択して情報を収集し、種類に合わせて類別して情報を蓄積している。【批判的思考力】 ③収集した情報を、視点を定めて分析したり、因果関係を推測したり、説明したりしている。【情報活用力及び批判的思考力】 ④他教科で培った表現力等を活用したり、学習の仕方を振り返り、根拠をもちながら他の学習や生活に生かしたりしている。【批判的思考力】	①探究活動を通して、自分のよさや、他者のよさを生かしながら学び合おうとしている。【協働性】 ②自分と身近な実生活・実社会の問題解決に他者と協働して進んで取り組もうとしている。【協働性及び挑戦心】 ③地域との関わりの中で、地域にとって必要なことと自分にできることを検討し、実践しようとしている。【挑戦心】

※本校で重点的に育成する資質・能力【情報取集力、情報活用力及び批判的思考力、協働性及び挑戦心】

3 単元の計画 (全 60 時間)

小単元 (時数)	学習内容	評価規準		他教科等との関連	
		知	思 態		
1 自分史未来編をアップデートするために様々な体験や活動を行う。 (30)	課題の設定 ・現在の自己を見つめ、7年次からの変容を把握し自己の将来について考える。	①	①	ワークシート 振り返り	美術科 「今の自分、これからの自分」
	情報の収集 ・上級学校を訪問して生き方の意見交換を行う。 ・ボランティアに参加し、地域に貢献する人の思いを知る。	②		ワークシート 振り返り	国語科 「グループディスカッション」
	整理・分析 ・ボランティア体験を通して考えたことを基に生き方に関するディスカッションを行う。 【本時4/4】		②	ワークシート 振り返り	数学科 「標本調査」
	まとめ・表現 実行 振り返り ・自分史未来編を作成し、学級内で交流する。		④	ワークシート 制作物 振り返り	国語科 「振り返って見つめる」

2 今できる社会貢献活動に取り組もう。(18)	課題の設定 ・自分史未来編作成を生かして、中学生の自分たちが社会に貢献できることはないかという課題をもつ。		①		ワークシート 振り返り	英語科 「What make good leader」
	情報の収集 ・自分たちにできる取組を考え、必要に応じてアンケート等を実施する。 ・自分たちにできる活動に取り組む。		②		ワークシート 振り返り	社会科 「よりよい社会を目指して」
	整理・分析 ・活動の振り返りを行う。 ・感想共有、自己の変容を見つめる。		②		ワークシート 振り返り	
	まとめ・表現 実行 振り返り ・発表を振り返り、まとめ 自分史未来編加筆・修正を行う。		①		ワークシート 振り返り	
3 作成した自分史未来編をもとに、自分の生き方や大切にすることを宣言しよう。(12)	課題の設定 ・自分史未来編の内容を実現するために何ができるかを考える。			③	ワークシート 振り返り	
	情報の収集 ・今まで得た情報を整理し、宣言するための準備を行う。 ・どのような場で宣言するか考える。		③		ワークシート 振り返り	国語科 「情報に関連づける」
	整理・分析 ・宣言のための資料作成、発表の練習を行う。 ・発表リハーサルを行う。 ・自分の思いを宣言する。			②	ワークシート 振り返り	
	まとめ・表現 実行 振り返り ・単元振り返り、自分史未来編加筆・修正を行う。 ・自分史未来編を活用して交流を行う。		③		ワークシート 制作物 振り返り	

4 本時について (本時 27/60)

(1) 本時の目標

幸せな生き方についてディスカッションを行い、様々な生き方に関する考え方に触れ、これまでの経験と関連付けながら、自分なりの考えをもつことができる。

(2) 本時の展開

	学習活動	◇指導上の留意点	◎評価規準 (評価方法) ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への手立て
導入	1 本時のめあてを確認する。	◇前時までの振り返りを行う。 ◇これまでのディスカッションの課題と本時の流れを確認して見通しをもつことができるようにする。	
	(めあて) 幸せな生き方についてディスカッションを通して、自分なりの考えをもつことができる。		
展開	○ディスカッションの準備を行う。	◇ダイヤモンドランキングを確認し、現在の自分の考えを整理できるようにする。 ◇事前に作成したダイヤモンドランキングは、本時を経ての変容が分かるように、タブレット上のデータで保存するようにしておく。 ◇ディスカッションを行う目的(幸せな生き方について意見を交換し、自分なりの考えを持つ)を再確認する。	◆考えの理由が述べられるよう価値観の基となる総合的な学習の時間や生徒自身の体験について振り返る時間を設ける。
	2 ディスカッションを行う。 ○4人1グループのワールドカフェ形式で行う。 ○10分×3回のディスカッションを行う。	◇「正解はない」ことを認識させて、自由な発言を促す。 ◇ゲストティーチャーには、打ち解けた雰囲気得意見交換をしてもらうように事前をお願いしておく。	◆教員がディスカッションに加わり生徒の意見を引き出す。
	3 ディスカッションを終えて自己の考えを整理する。(個人思考)	◇自己内対話できるよう個人で考えるようにする。 ◇事前に作成したものと比較するよう声掛けをする。	
【中心発問】 様々な意見を聞いて、自分が幸せに生きるために必要なものは何だと思うか。			
展開	○ダイヤモンドランキングを作成する。	◇なぜ、そのダイヤモンドランキングになったのか理由を説明できるようにする。 ◇今後も変容を見返すことができるようにタブレット上に保存するように指示する。	◆個人で考えるのが難しい場合は、班のメンバーの意見を見たり、教員の意見を聞いたりしながら考える。
	4 作成したダイヤモンドランキングを基に、自己の考えを班で共有する。	◇「考えは変わってもよい」「正解はない」ということを押さえておく。	
<p>(深い学びにするための「しかけ」)</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な意見や価値を共有することで、自分の考え方とは違う視点や広い視野で「幸せな人生」について考えることにつなげる。 ディスカッションで出た意見や価値観を「実生活で生かすには?」「幸せな人生にするために今の自分にできることは?」といった視点での考えを出すことができるように働きかける。 ディスカッションの仕方について、これまで行ってきたディスカッションを振り返りながら、自分の考えをしっかりとつことをキーワードにして指導することで、ディスカッションの質を高める。 思考ツール(ダイヤモンドランキング)を使用することで、自己や仲間の考えの変容を視覚的に捉えさせる。 			

終末	<p>5 振り返りを書く。 ○個人思考を経て、班で共有する。</p>		<p>◎自分と身近な実生活・実社会の問題解決に他者と協働して取り組み、生き方に関して自分の考えを粘り強く追求し、より深めようとしている。(振り返り、発言)③</p>
	<p>(振り返りの例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幸せな人生を送るために一番必要なものは「お金」だと思っていたけど、〇〇さんの「自由な時間」という意見を聞いて、確かにお金があっても、それを使うための時間がなくてはは幸せとは言えないのかもしれないと感じた。 ・〇〇さんが「人とのつながりが一番大切」と言っていて共感した。周りの人をより大切にして生きていきたいと思った。〇〇食堂での□□さんのお話においても人とのつながりが人生の充実感につながっていると改めて思った。 ・最初は「お金」と「家庭」をダイヤモンドランキングの上位2つにしていたけど「家庭」をもたない選択肢もあると知った。家庭をもたずに仕事をたくさんしている人の話を聞いてみたいと思った。 		

5 本時の板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">本時のめあて</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>ダイヤモンドランキングのカード</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px;"></div> </div> <p>ディスカッションをする上での確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを伝える ・意見は変わってもよい ・色々な意見を聞いて自分なりの考えをもつ。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>ディスカッションを終えて (生徒から出た意見)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">変わった</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">変わらない</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">・~~~~~</td> <td style="text-align: center;">・~~~~~</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">・~~~~~</td> <td style="text-align: center;">・~~~~~</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">・~~~~~</td> <td style="text-align: center;">・~~~~~</td> </tr> </table> </div>	変わった	変わらない	・~~~~~	・~~~~~	・~~~~~	・~~~~~	・~~~~~	・~~~~~
変わった	変わらない								
・~~~~~	・~~~~~								
・~~~~~	・~~~~~								
・~~~~~	・~~~~~								

6 本時に関わる単元ルーブリック

観点	主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	自分と身近な実生活・実社会の問題解決に他者と協働して取り組もうとしている。	
ルーブリック	A	B
	<p>自分と身近な実生活・実社会の問題解決に他者と協働して取り組み、生き方に関して自分の考えを粘り強く追求し、より深めようとしている。多様な考え方のよさを理解し表現したり、更なる問いを主体的に立てたりしている。</p>	<p>自分と身近な実生活・実社会の問題解決に他者と協働して取り組み、生き方に関して自分の考えを粘り強く追求し、より深めようとしている。</p>